

福島県立南会津病院の概要



(平成11年8月当院全景)

令和3年6月

院長あいさつ

神奈川県に匹敵する広大な面積を有し、大自然に恵まれた、また日本有数の山間豪雪地帯でもある南会津郡。この地域で唯一の病院が南会津病院です。

いま日本では、過疎化・少子高齢化が急速に進行し、地方存続の大きな課題となっています。そのような中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を全うできる社会を目指し、地域包括ケアの概念が国によって提唱されました。そのなかでは、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供することが求められています。

南会津病院は、開設の目的である救急医療を含む2次医療の確保に引き続き取り組むとともに、保健・福祉・医療・介護の関係機関との連携をさらに強化し、地域住民がこれからも安心して生活できるように、地域包括ケアシステムの構築に積極的に取り組んで参ります。

また、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めてから1年以上が経過しましたが、その終息までにはさらに時間が必要になると考えられます。引き続き感染対策に万全を期し、一步一步力強くこの南会津の地域医療に取り組んでまいります。



福島県立南会津病院長 佐竹 賢仰

1 当院の基本理念 (H30.4.24 改訂)

地域の皆様に信頼され、愛され、親しまれる病院

そのために私たちは

- 1 地域唯一の病院として、良質で安全な医療を提供します。
- 2 断らない救急医療を目指します。
- 3 保健・福祉・医療・介護の関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの中心的な役割を果たします。
- 4 県立病院としての公共性を確保し、健全な病院経営に努めます。

○ 患者の皆様のご権利に関する県立南会津病院宣言 (H18.5.31 改訂)

- 1 皆様は必要かつ最善の医療を公平に受ける権利を有します。
- 2 皆様は診療内容、治療方針とその危険性や副作用などの十分な説明を受ける権利を有します。(ただし、必要に応じて主治医の判断により、ご家族や代理の方にお話する場合があります。)
- 3 皆様は診療行為に対し、十分な説明を受けて、ご自身の意思により同意または拒否する権利を有します。
- 4 皆様はプライバシーが尊重される権利を有します。
- 5 皆様は今受けている検査、処置、治療、食事、看護、他の医療機関への転院、セカンド・オピニオンなどについて、ご自身の希望を述べる権利を有します。

○ 令和3年度行動指針 (毎年度、職員から公募し採用者を表彰し全部署に掲示)

- 1 皆で防ごう感染対策 皆で守ろう災害対策 皆で築こう地域の輪
- 2 地域の声に寄り添い創る南会津病院
- 3 地域・外来・病棟の連携プレー 住民の皆様のご健康保持・増進につなげよう

2 当院の概要 (R3. 4. 1 現在)

(1) 所在地

福島県南会津郡南会津町永田字風下 14 番地 1

(2) 開設年月日

昭和 24 年 7 月 (現病院竣工 平成 6 年 12 月 26 日)

(3) 病床数

許可病床数 98 床 (H25. 4. 1 変更←H21. 3. 31 変更 (100 床) ←150 床)

(4) 診療科 ※ () は非常勤診療科

内科、外科、整形外科、小児科、(神経内科)、(漢方内科)、(産婦人科)、(皮膚科)、(泌尿器科)、(耳鼻咽喉科)、(眼科)、(神経精神科)

(5) 常勤医師数

9 名 (内科 5 名、外科 2 名、整形外科 1 名、小児科 1 名)

(6) 職員数

129 名 (医師 9 名、看護師 90 名、医療技師 17 名、薬剤師 3 名、事務 10 名)

(7) 主な沿革

年	月	概要
S24	7	日本医療団より移管され、県立田島病院として設置
S58	12	救急協力病院に認定
H7	4	新病院移転改築・病院名称変更〔県立田島病院→県立南会津病院〕
H8	11	地域災害医療センターに指定
H11	4	救急病院として告示
H16	6	へき地医療拠点病院に指定
H29	11	みなみあいづ訪問看護ステーション開設

(8) その他

- ・ H16. 5 福島県地域リハビリテーション広域支援センター (南会津圏域)
- ・ H17. 9. 14 臨床研修病院 (協力型)
- ・ H30. 11. 1 福島県認知症疾患医療センター (南会津圏域・連携型)
- ・ H31. 4. 1 地域医療支援センター ※ 南会津地方広域市町村圏組合より業務移管
- ・ R2. 8. 3 福島県地域外来・検査センター



3 医療圏

(1) 南会津 (会津・南会津医療圏) 3 町 1 村
(下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)

(2) 面積 2, 341. 64 km²

(県土の 17%、神奈川県に匹敵)

尾瀬国立公園、越後三山只見国定公園、
大川羽鳥及び只見柳津県立自然公園

(3) 森林地帯 約 93%

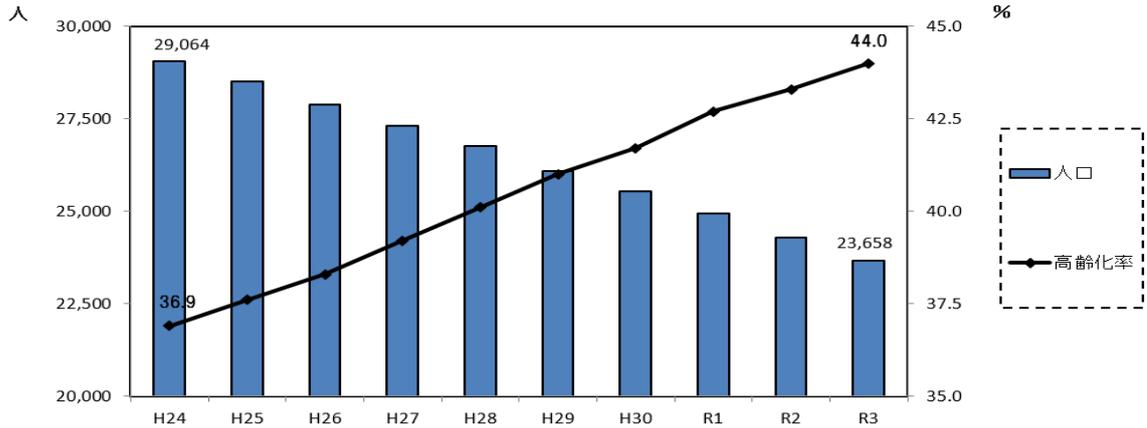
(4) 特別豪雪地帯：南会津町のうち旧伊南村、
旧南郷村、旧館岩村の区域、
只見町、下郷町、檜枝岐村

(5) 豪雪地帯：南会津町のうち旧田島町の区域



(6) 人口及び高齢化率(各年の 4.1 現在)

(単位：人・%)



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
人口	29,064	28,499	27,872	27,323	26,757	26,085	25,533	24,940	24,291	23,658
65歳以上	36.9 (25.6)	37.6 (26.6)	38.3 (27.4)	39.2 (28.2)	40.1 (29.2)	41.0 (30.4)	41.7 (30.5)	42.7 (31.3)	43.3 (31.9)	44.0 (32.5)
75歳以上	22.8 (14.2)	23.4 (14.6)	23.6 (14.8)	23.9 (14.9)	24.5 (15.2)	24.9 (15.7)	25.2 (15.8)	25.7 (16.2)	25.7 (16.4)	25.5 (16.3)

〔備考〕・上表中の単位は、人口は人、他は%（構成比）で記載

・「65歳以上」及び「75歳以上」欄の下段かっこ書きは、県全体の数値

4 南会津地域保健医療圏医療機関等(R3.6.1現在)

- (1) 病院 1 (南会津町1)
- (2) 診療所 13 (前年度比△1)
 - ア 公営 2 (只見町1、檜枝岐村1)
 - イ 民営 11 (南会津町9、下郷町2)
- (3) 社会福祉施設
 - ア 介護老人保健施設 2 (南会津町1、只見町1)
 - イ 特別養護老人ホーム 8 (南会津町4、下郷町2、只見町2)
 - ウ 介護付有料老人ホーム 1 (南会津町1)
 - エ ショートステイ 7 (南会津町4、下郷町2、只見町1)
 - オ グループホーム 3 (南会津町1、下郷町1、只見町1)
- (4) 当院と協力病院協定 11 (南会津町10、只見町1)
- (5) 地域間の移動距離
 - ア 救急車：夏期 ※冬期は1.5倍～2倍
 - (ア) 只見→田島：5.5Km (1時間強)
 - (イ) 檜枝岐→田島：5.5Km (1時間強)
 - (ウ) 田島→若松：4.5Km (1時間)
 - イ ヘリコプター
 - (ア) 只見→会津若松：20分
 - (イ) 田島→会津若松：15分



5 診療科等

- (1) 医師数（再掲）
常勤医 9名
・内科（5名）、外科（2名）、整形外科（1名）、小児科（1名）
- (2) 診療体制 8頁参照
- (3) 他院等への診療応援
・只見町朝日診療所へ 外科：毎週金曜日
・会津中央病院へ 外科：毎週火・水曜日、整形外科：毎週金曜日
・田島ホームへ 外科：毎週火曜日

6 新型コロナウイルス感染症の対応

令和2年2月に県からの依頼に基づき感染患者受入病床として17床確保。

同年3月に県からの依頼に基づき「帰国者・接触者外来」を設置し、保健所からの依頼によりPCR検査と抗原検査を実施。

同年4月に院内の感染予防並びに地域診療所から発熱患者を受入れるため、院内に「発熱外来」を設置し、同年8月に「福島県地域外来・検査センター」の運営業務委託を締結。

<令和2年度対応実績>

- (1) 陽性患者入院受入 62名
- (2) 発熱外来受診者 346名
- (3) 沖縄県への職員派遣 1名（R2.8.31～R2.9.13・看護師）
- (4) 福島県への職員派遣 5名（R3.1.26～2.25・医師3名25回、看護師2名2回）

7 救急活動

- (1) 救急告示病院（H11年4月、認定期間：R2年4月～R5年3月までの3年間）

- (2) 体制

医師：土・日・祝日の日勤帯1名、全日の夜間1名

看護師：土・日・祝日の日勤帯2～3名、全日の長日勤帯・夜勤帯各2名

※ H28.1.12～、看護部2交代制勤務試行

放射線技師：土・日・祝日の日勤帯1名

医療事務：土・日・祝日の日勤帯1名

薬剤師：日・祝日の日勤帯1名

臨床検査技師：オンコール体制

- (3) 活動実績

ア 救急車搬送件数	令和2年度	559名
	令和元年度	685名
	平成30年度	712名
	平成29年度	685名
イ 時間外取扱患者数	令和2年度	1,786名
	令和元年度	3,346名
	平成30年度	3,403名
	平成29年度	3,586名
	平成28年度	3,957名

（参考）

南会津地方広域市町村圏組合消防本部の救急搬送人員

令和2年 1,275名（管内搬送は43.8%）

令和元年 1,570名（管内搬送は43.6%）

平成30年 1,589名（管内搬送は44.8%）

平成29年 1,484名（管内搬送は53.0%）

平成28年 1,462名（管内搬送は53.9%）

※ 各年1月1日から12月31日までの集計値

- (4) 救急医療連携医療機関

会津中央病院・救命救急センター、竹田総合病院、会津医療センター

※ 結核、精神科等は特定医療機関と連携

- (5) 福島県ドクターヘリ搬送先指定医療機関

8 人工透析

(1) 実施体制

月・水・金 : 2クール (1クール目: 9:00～、2クール目: 13:00～)

火・木・土 : 1クール (9:00～)

※ R2.4.1～、看護部早出勤体制開始

(2) 患者数

当院の実患者数 46名 (令和3年3月末現在)

当院の延べ患者数 7,087名 (令和2年度)

(参考) 身体障害者手帳所持者のうち、腎臓に障がいのある方81名 (R2.4.1現在)

下郷町 26名、檜枝岐村 0名、只見町 11名、南会津町 44名

(県障がい者総合福祉センター発行「令和2年度版業務概要」より)

(3) 設備状況

透析機器 19台 (平成19年9月に12台で運用開始。平成22年4月から7台増設)

9 訪問診療

令和2年1月開始

(1) 実施体制

・担当職員: 6名 (医師1名、看護師5名)

(2) 患者数

・実患者 15名 (令和2年度)

※ R3年5月末現在11名



10 訪問看護

平成29年11月 訪問看護ステーションを開設

令和2年5月 自立支援医療機関の指定 (精神通院医療)

(1) 実施体制

・月～金 : 8時30分～17時15分 (24時間緊急訪問体制)

・専任職員: 4名 (管理者1名、看護師3名)

(2) 利用者数

・実利用者数 41名 (令和3年3月末現在)

・延べ利用者数 令和2年度 2,315名

令和元年度 1,928名

平成30年度 981名

(3) 実施エリア

・下郷町、只見町、南会津町、昭和村、金山町

(参考) 南会津管内訪問看護事業所 3 (南会津町2、只見町1) (R3.6.1現在)

(県南会津保健福祉事務所発行「南会津地域医療・介護の資源」参考)



11 各種研修・実習の受入

(1) 修学資金被貸与者等 (2年次臨床研修医) 地域医療研修の受入 (過去5年間)

R2年度 21名、R元年度 13名、H30年度 11名、H29年度 14名、H28年度 13名

※ 当院は、協力型臨床研修病院 (施設) としての指定を受けている。

(2) 医学部学生実習受入

・自治医科大学: 地域医療実習 (5年生) (過去5年間)

R2年度 0名、R元年度 3名、H30年度 3名、H29年度 3名、H28年度 3名

・自治医科大学: 夏期体験実習 (1～4年生) (過去5年間)

R2年度 0名、R元年度 12名、H30年度 13名、H29年度 11名、H28年度 0名

- ・県立医科大学：夏期体験実習（1～4年生）（過去2年間）
R2年度0名、R元年度1名
- (3) その他
- ・管理栄養士実習（R2年度：郡山女子大学2名）

12 医療機関・自治体等との連携

- (1) 病院、診療所、各医療関係機関との連携
- ア 読影システムを導入した専門医による診断の迅速化（病病連携）
- ・R2年度382件、R元年度535件、H30年度539件
- イ CT, MRI, 検体検査の委託受入（地元開業医等）（病診連携）
- ・CT：R2年度157件、R元年度220件、H30年度189件
 - ・MRI：R2年度97件、R元年度111件、H30年度111件
 - ・検体検査：R2年度509項目、R元年度437項目、H30年度1,115項目
- ウ 県立医科大学と情報通信技術（ICT）を用いた透析医療の提供（遠隔管理）
- (2) 各種健（検）診、予防接種、健康教室、巡回相談、研修会等への職員派遣
- ・医療講演：R2年度2回、R元年度9回、H30年度29回
- (3) 各種勉強会等の開催：南会津学術セミナー、南会津救急懇話会、院内感染対策勉強会、小児医療相談会などの実施
- (4) 地域の病院、診療所、介護施設等との連携強化
- ・紹介患者数：R2年度539名、R元年度726名、H30年度974名 ※当院への紹介者数

13 病院機能評価の受審

H17年度（財）日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審

○H18.3.20 認定－Ver.5－〔認定期間：H18.3.20～H23.3.19〕

H22年度 更新認定受審（H22.12.8～10に訪問審査を実施）

○H23.4.1 認定－Ver.6.0－〔認定期間：H23.3.20～H28.3.19〕

H27年度 更新認定受審（H27.12.7～8に訪問審査を実施）

○H28.3.4 認定－3rd.G Ver.1.1－〔認定期間：H28.3.20～R3.3.19〕

R3年度 更新認定受審（R3.12に訪問審査を実施予定）



14 表彰歴

平成27年9月9日 救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞



15 地域との交流事業

(1) 地域の支援団体

平成27年10月23日「福島県立南会津病院友の会」発足

(2) 病院敷地美化活動

隣接のリハビリ公園を含む病院敷地全体の除草を、各ボランティア団体（南会津病院友の会、南会津町役場）と合同で実施。

(3) 「南会津町商工産業まつり」への出店

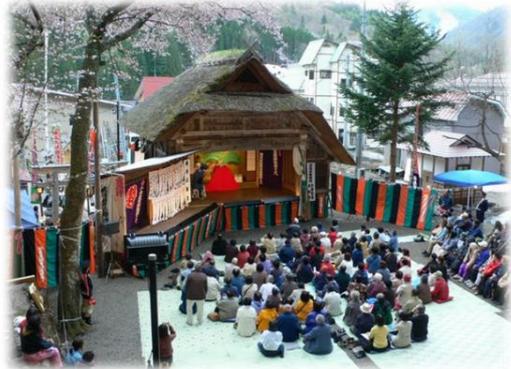
当院のブースを設け、地域住民の方々と交流を深める事業。

(4) 「院内コンサート」の開催

落語家の三遊亭兼好師匠を招きクリスマス寄席を開催。



16 南会津地域の四季・伝統行事



■ 外来診療体制

(R3.6.1 現在)

診療科	診療開始時間	月	火	水	木	金	備 考
内科1診	9:00	八重樫	武田	高野	佐藤	牧	
内科2診	9:00	牧	高野	八重樫	高野	八重樫	
内科3診	9:00	佐藤	牧	武田	武田	佐藤	
透 析	9:00	非常勤	牧、佐竹	八重樫	武田、高野	佐藤	月：県立医科大学
外科	9:00	佐竹(賢)	佐竹(秀)	佐竹(賢)	佐竹(秀)	非常勤	会：会津医療センター医師
整形(1診)	9:00 14:00	増子	※増子	休 診	増子	非常勤	※火曜日：受付時間 8:00~11:30 診療開始時間 9:00から
整形(2診)	9:00 14:00	非常勤	休 診	休 診	休 診	休 診	非常勤：会津医療センター医師
産婦人科	13:30 9:00	休 診	休 診	休 診	非常勤	休 診	第1・2・4木曜日：会津中央病院医師 第3・5木曜日：小野木レディースクリニック
小児科	9:00	小野	小野	小野	小野(9時~10時) 非常勤(10時~)	非常勤	非常勤：県立医科大学 予防接種(月~木、夏予約)
耳鼻咽喉科	9:00	休 診	非常勤	休 診	非常勤	休 診	火曜日：会津医療センター医師 木曜日：小野(美)
眼科	9:00	非常勤	休 診	休 診	休 診	非常勤	毎週月曜日：矯正生体病院医師 毎週金曜日：竹田総合病院医師
皮膚科	9:00 14:00 9:00	非常勤	休 診	休 診	非常勤	休 診	毎週月曜日：会津医療センター医師 第1・3木曜日：湯田(たてまつ)クリニック 第2・4・5木曜日：会津医療センター医師
漢方内科	13:00	休 診	非常勤 (予約制)	休 診	休 診	休 診	会津医療センター医師
神経内科	9:00	休 診	休 診	休 診	非常勤 (紹介予約制)	休 診	鈴木(啓)
神経精神科	9:00	休 診	非常勤 (第1・3) (予約制)	非常勤 (1回/月) (予約制)	非常勤 (第2) (予約制)	休 診	第1・3火曜日：吉賀(会津医療センター) 水曜日(1回/月)：川勝(会津医療センター) 第2木曜日：伊藤(福島県立失政病院)
泌尿器科	9:00 14:00	休 診	非常勤 (第2・4)	休 診	休 診	休 診	第2・4火曜日：藤(東邦大学)

■ ふくしま県立病院事業改革プラン

(R3 年度~R5 年度)

南会津病院 ~中山間地域における医療提供体制の確保~

現状と課題

課題1 地域医療の維持・確保
住民が安心して暮らしていくため、地域に必要な医療(救急医療、透析、入院等)の安定的な提供が求められています。

課題2 自然災害・感染症等への備え
自然災害の発生や新型コロナウイルス等への適切な対応が必要になります。

課題3 地域包括ケアへの対応
診療圏町村の高齢化等に伴い、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

課題4 医師の安定的な確保
常勤医師の減少が、必要な診療体制の維持や、へき地医療拠点病院の役割である公的診療所への診療応援にも影響を与えており、医師の安定的な確保が必要になっています。

課題5 地域状況に即した医療提供
高齢化・人口減少等の地域状況を踏まえ、限られた医療資源を効果的に活用した医療の提供が求められています。

< 病院基本情報 >

所在地	南会津町		
診療圏	南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町		
病床数	98床(外科等：48床、内科：50床) ※ 令和3年度以降見直し予定		
指定状況	救急告示病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)、 認知型臨床研修病院(施設)へき地医療拠点病院、認知症疾患医療センター 等		

診療科	診療日	常勤医師数				
		R2	R1	H30	H29	H28
内 科	常設	4	5	7	6	6
外 科	常設	2	2	2	2	2
整形外科	常設	1	2	3	3	2
小児科	常設	1	1	1	1	1
計		8	10	13	13	12

※ R2年度は10.1現在

診療科	診療日	診療科	診療日	診療科	診療日
神経内科	週1日	皮膚科	週1日	漢方内科	週1日
産婦人科	週1日	泌尿器科	月2日	耳鼻咽喉科	週2日
眼 科	週2日	神経精神科	月5日		

職員数	合計	医師	看護	薬剤	栄養	医療技術	事務
R2.4.1	121	7	86	3	1	15	9

主要な取組

地域医療の確保

1 地域医療の安定的な提供
地域唯一の「救急告示病院」として、24時間365日体制で救急医療等に対応します。また、専門外来(人工透析など)による慢性疾患への対応を行うほか、地域の医療ニーズに対応されるよう、診療科の維持・充実に取り組んでいます。

2 公的診療所への診療応援
「へき地医療拠点センター病院」である会津医療センターとの連携の下、地域の公的診療所の診療応援を行い、地域住民の診療にあたります。

3 自然災害・感染症等への対応
「災害拠点病院」として、大規模災害発生時に、重傷救急患者の救命医療を行います。また、感染(疑い)患者に適切に対応するため、感染症等の流行・新たな発生に備えて、職員の特任知識の習得を支援するほか、保健所や地元医師会等と連携強化を図ります。

地域包括ケアシステムの構築支援

1 在宅医療の提供
在宅支援を必要とする方への訪問診療・訪問看護・訪問リハビリを実施します。

2 地域包括ケアシステムの構築支援
回復期病棟を確保し、関係する医療機関と連携しながら、診断・治療からリハビリに至る総合的な医療を提供します。また、町村等関係機関との連携強化により、地域包括ケアの具体的なシステムづくりを支援します。

3 健康づくりの支援
健康診断や町村と連携した出前講座等を通して、予防医療や健康づくりの啓発を行います。また、保育所等の職員、保護者を対象に家庭や施設で抱える子育ての不安や疑問に答える相談会を継続して実施します。

4 認知症への対応
神経精神科の外来診療において医療面での支援を行いながら、関係機関との連携により、認知症の方々の早期受診や地域での生活支援を行います。

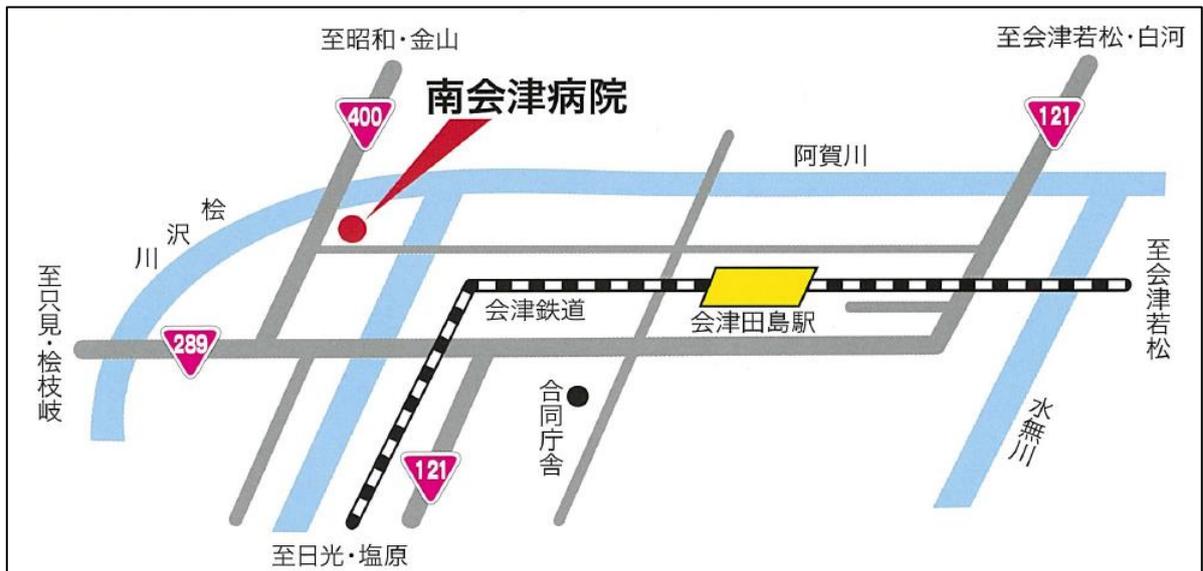
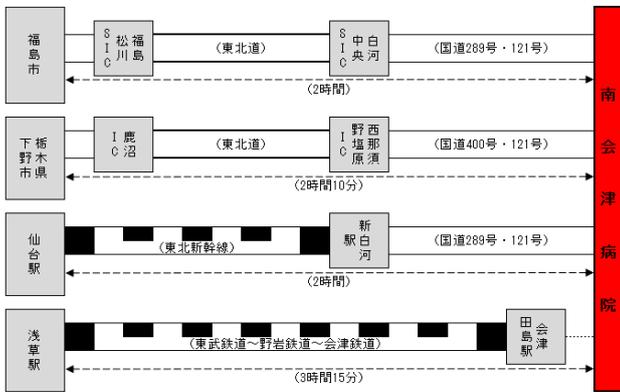
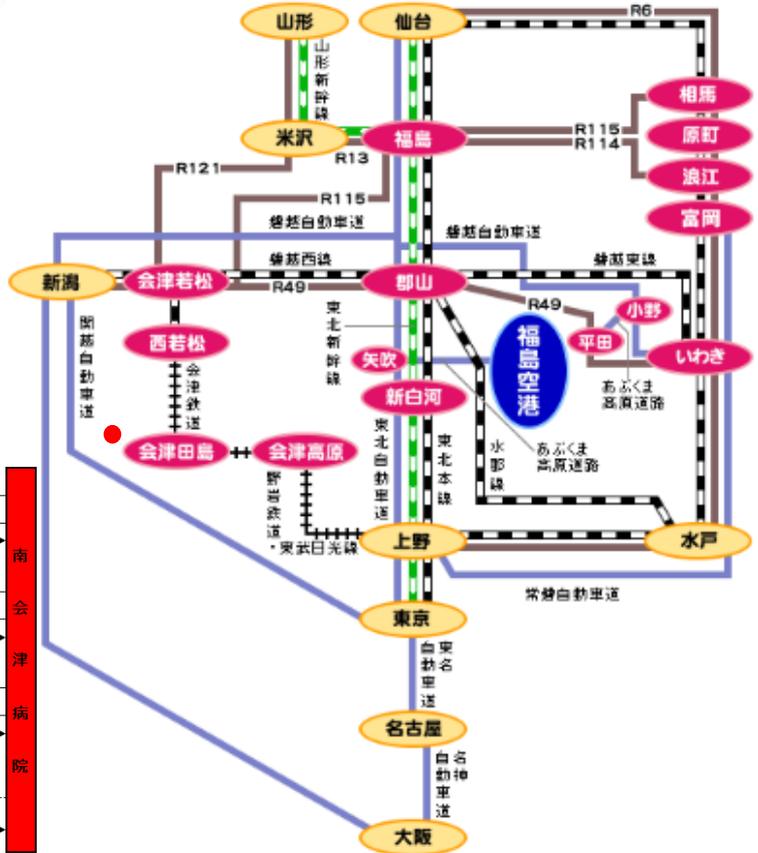
安定的な運営体制の確保

1 医療人材の確保
自治医科大学・県立医科大学等との連携強化等により、地域医療の維持・確保に必要な医師を始めとする医療人材の確保を図ります。

2 人材育成
臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医師確保を目指します。

3 効果的・効率的な医療の提供
限られた医療資源での効果的・効率的な医療提供に向けて、ICTを活用した遠隔診療等の体制整備に取り組んでいます。

■ ようこそ南会津病院へ



福島県立南会津病院

〒967-0006 福島県南会津郡南会津町永田字風下 14-1

電話番号 0241-62-7111、FAX 0241-62-0200

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25190a/minamiaidubyouin.html>